

「落花生」生育情報（第2報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

令和5年8月18日

千葉県農林水産部

生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。
調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

1 生育状況

アメダス（佐倉市）では、7月から8月にかけて、平均気温、日照時間ともに平年を上回って推移し、7月中下旬は降雨がほとんど無かったことから、ほ場は干ばつ状態となりました。8月上旬には一部の地域で降雨がありましたが、降雨がほとんどなかった地域もあり、干ばつによる空さやの発生や子実の充実不足の恐れがあります。

8月10日時点の作況調査ほ及び落花生研究室のほ場では、7月中の高温・多照・少雨により、平年と比較して、分枝長はやや短く、さや数はやや少ない傾向がみられます。さや実の生育については、は種時期の早い（5月上旬～中旬）ほ場や無かん水のほ場では、平年を下回っている一方で、かん水を実施したほ場や、は種時期の遅いほ場（6月上旬～中旬）では平年を上回っています。

表1 作況調査成績（8月10日調査）※対比は平年比

品 種 名	年次	は種日	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
千葉半立	本年	5/26	7/5	2386	529	96	379	52	37
	平年	5/26	7/8	2457	432	109	351	49	42
	対比	(0)	(-3)	97%	122%	88%	108%	107%	88%
ナカテユタカ	本年	5/17	6/30	2088	465	143	520	139	34
	平年	5/21	7/2	1647	285	161	539	115	33
	対比	(-4)	(-2)	127%	163%	89%	96%	121%	105%
Qなつつ (千葉P114号)	本年	6/1	7/5	2352	541	114	500	85	44
	平年	6/4	7/9	2257	380	149	519	73	44
	対比	(-3)	(-4)	104%	143%	76%	96%	116%	100%
おおまさり ネオ	本年	5/21	7/2	2656	562	166	651	100	38
	平年	5/23	7/1	2341	465	143	602	87	44
	対比	(-2)	(1)	113%	121%	116%	108%	115%	87%

* 本年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取地区、「ナカテユタカ」は千葉・長生地区、「Qなつつ」は印旛・長生地区、「おおまさりネオ」は千葉・印旛・君津地区。

* 平年値は、圃場変更がない限りは過去7年間（「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「Qなつつ」）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「おおまさりネオ」は過去2年間の平均値との比較値。

* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

* 開花期は、1輪でも花が咲き始めた株がほ場全体の50%に達した日。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の作況(本年の値、8月10日調査)

は種日	品 種 名	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
5月19日 (標播)	千葉半立	6/29 (-1)	2,105 (81%)	521 (103%)	113 (89%)	314 (77%)	57 (108%)	33 (76%)
	ナカテユタカ	6/27 (-1)	1,462 (81%)	346 (97%)	164 (84%)	476 (81%)	93 (97%)	22 (60%)
	Qなつつ	6/29 (±0)	1,728 (92%)	380 (106%)	149 (78%)	396 (66%)	73 (76%)	29 (67%)
	おおまさりネオ	6/28 (±0)	1,702 (73%)	408 (90%)	99 (67%)	270 (59%)	56 (92%)	28 (71%)
6月8日 (晩播)	千葉半立	7/11 (-2)	1,645 (78%)	392 (109%)	46 (113%)	161 (122%)	25 (184%)	31 (84%)
	ナカテユタカ	7/8 (-3)	1,287 (75%)	295 (95%)	117 (135%)	341 (114%)	52 (150%)	23 (69%)
	Qなつつ	7/10 (-3)	1,399 (89%)	331 (115%)	95 (113%)	305 (103%)	49 (144%)	28 (76%)
	おおまさりネオ	7/10 (-2)	1,585 (73%)	397 (108%)	53 (97%)	111 (69%)	22 (116%)	26 (71%)

注1) 栽植密度は5,128株/10a

2) 無かん水条件

3) カッコ内は、平成30年～令和4年の平均値対比を示す

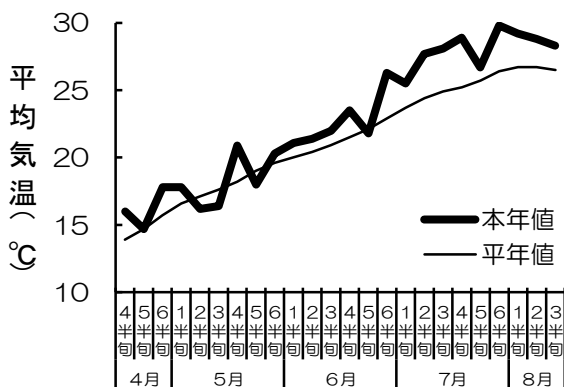


図1 気温の推移(アメダス、佐倉)

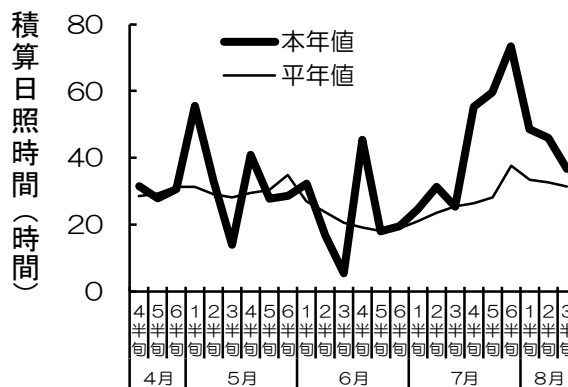


図2 日照時間の推移(アメダス、佐倉)

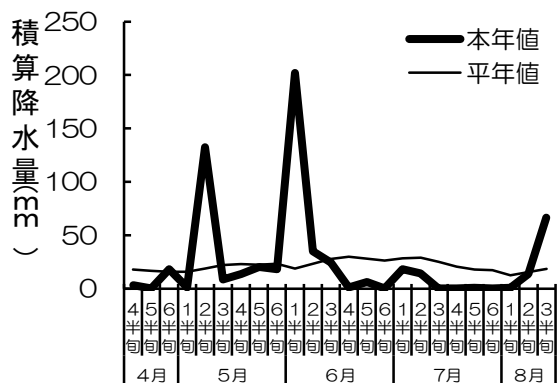


図3 降水量の推移(アメダス、佐倉)

2 これからの管理のポイント

(1) 病虫害防除

1) 発生状況

7月の高温乾燥の影響で茎腐病の発生が見られました。また、ヨトウムシ等による葉の食害が一部で見られます。

2) 今後の対策について

降雨やかん水による高温・多湿での白絹病の発生が懸念されます。薬剤散布だけでは十分な効果が望めない場合は、罹病株を株元の土ごと除去し、被害の拡大を防止しましょう。

薬剤の使用に当たっては、収穫前使用日数に注意しましょう。薬剤散布は、農薬のラベルに記載された使用基準に従い行ってください。

表3 防除薬剤

病虫害名	適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
ハスモンヨトウ	トレボン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで／2回
褐斑病・黒渋病	トップジンM水和剤	1,500～2,000倍	収穫7日前まで／4回
	ベンレート水和剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで／4回
白絹病	アフエットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで／3回



褐斑病



白絹病

(2) かん水の徹底

開花期後20日及び40日を目安にかん水を実施します。5月中旬には種している場合は、子実の充実期を経過しているため、今後のかん水の必要性は低いですが、6月上旬以降の晩期には種した場合や、子実の充実に水分を要する「おおまさりネオ」については、今後の天気によってはかん水を徹底しましょう。

- **開花期後20日頃から、週1回を目安にかん水し、採種する場合は、開花期後40日頃にもかん水しましょう。**
- **1回のかん水量は、30ミリ以上の「十分なかん水」を心がけましょう。**
- **「おおまさりネオ」は、さやの充実期に、多くの水分が必要です。開花期後20～60日頃にかけて定期的にかん水をしてください。**

(3) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。また、砂地の地域では収穫時期が早まる傾向にあるので、早めに試し掘りをしてください。

掘り遅れた場合、「ナカテユタカ」は食味が低下し、「Qなつつ」は落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表4 開花期からの掘取時期の目安

千葉半立	ナカテユタカ	Qなつつ	おおまさりネオ
95日後	80日後	80日後	85日後 (ゆで豆用)

表5 落花生研究室（八街市・マルチ栽培）での収穫期目安

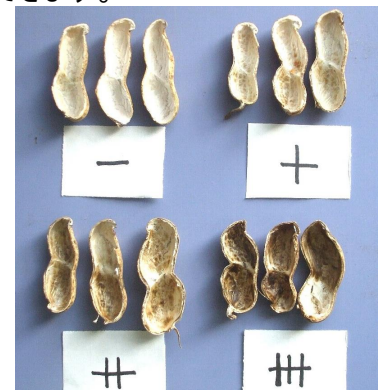
	は種日	開花期	収穫期目安
千葉半立	5月19日	6月29日	10月2日
	6月8日	7月11日	10月13日
ナカテユタカ	5月19日	6月27日	9月15日
	6月8日	7月8日	9月26日
Qなつつ	5月19日	6月29日	9月17日
	6月8日	7月10日	9月28日
おおまさりネオ	5月19日	6月28日	9月21日
	6月8日	7月10日	10月3日

収穫適期判断法

「ナカテユタカ」及び「Qなつつ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

＜方 法＞

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



(4) 台風対策

栽培期間中に台風が接近した場合は、以下の対策をしましょう。

ア 栽培中及び乾燥中ともに冠水しないように排水路を整備する。

イ 台風後に病害が発生しやすいので、よく観察し、必要に応じて表3を参考に殺菌剤を散布する。